

大牟田市立松原中学校

1 本校のESDの特徴

本校のESDの取組は、SDGsを意識して地域に根ざした活動を通して、問題解決につながる価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会づくりの担い手となる生徒の育成をねらいとしている。そのためにESDで身につけさせたい能力・態度を育てるために、1年「福祉学習」、2年「地域探求学習」、3年生については「進路学習」を主のテーマとして、各学年で特徴のある取組を行っている。

しかし、本年度はコロナ禍により、1年の福祉体験（福祉施設訪問）、2年の地域探究活動（大牟田の世界遺産や史跡の見学、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・観光に関わる人の訪問）、3年の職場体験学習が実施できなかったため、例年に比べて縮小した形の取組となった。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

1 学年「福祉学習」	2 学年「地域探究学習」	3 学年「進路学習」
【6月】 ○オリエンテーション 【7月】 ○バリアフリーの学習 【10・11・12月】 ○認知症、高齢者についての学習 ○高齢者にやさしい町づくり方策の提案 【1月・2月】 ○職業調べ、高校調べ	【6月】 ○オリエンテーション 【7月】 ○大牟田の現状と課題発見 【10・11月】 ○探究活動の計画・ポスターづくり 【12月】 ○修学旅行自主研修（地域探究活動）、レポート 【1月・2月】 ○進路学習	【6月】 ○オリエンテーション 【7月】 ○高校調べ、出前授業 【10・11月】 ○進路学習の計画、実施 （卒業後の進路選択&決定に向けた取組） 【12・1・2月】 ○進路実現に向けた取組

3 特徴的な活動事例の紹介

1 学年「福祉学習」（認知症についての理解、高齢者との接し方について）

(1) ねらい

認知症や高齢者との接し方についての理解を深め、地域社会の一員としての自覚を持ち、持続可能な社会のために自分にできることを考え行動することができるようにする。

(2) 学習課題

絵本教室による福祉学習を振り返り、高齢者の不自由なことや不便なことに気づき、高齢者にとって住みやすい・やさしい町づくりの方策を考えよう。

(3) 福祉学習の取組

段階	学習活動・内容	留意点
オリエンテーション	(1) 福祉体験学習についてのオリエンテーション	○今後のスケジュールを確認させる。



事前学習 ・情報収集 ・整理分析	コースを作って車椅子体験を行う	○グループで危険箇所等を確認しながら体験させる。
講 話	(3)絵本教室による「認知症の理解と高齢者との接し方」	○講師を招聘し、認知症や高齢者についての理解を深めさせる。
事後学習 ・整理分析 ・振り返り	(4)「絵本教室を通して学んだことをまとめよう」 (5)「高齢者にやさしい町づくりの方策」を考えよう。 ・福祉声かけ隊を結成する ・高齢者への正しい理解を発信する ・GPSを活用する	○話の内容とそれについての感想などをまとめる。 ○高齢者にやさしい町づくりについて自分たちにできることを考え行動する。 ・笑顔であいさつをすることを推進し、広報活動をさせる

2 学年「地域探究学習」

(1) ねらい

大牟田の世界遺産や史跡を見学したり、環境施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・観光に関わる人を訪問したりして、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知る。そして、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を改善する方法を考えたり、行動したりし、大牟田の未来についても興味・関心を持って考えることができるようにする。



(2) 学習課題

自分たちが一生涯生活したいと思う大牟田市になるための方法を考えよう。

(3) 取組

地域の課題を探るために世界遺産文化財室、大牟田市動物園、カルタックス歴史資料館の3分野のGTを招いて「地域探求学習」を行った。職種先の講話を聞いて、それぞれが抱える課題やその解決に向けて取り組んであることなどをレポートとしてまとめた。その後、自分たちが住みたくなる大牟田市をアピールするために、食や観光スポットや歴史などをテーマにポスターづくりを行った。

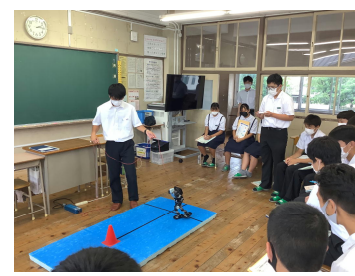
<活動の様子>



福祉学習



GTとの出会い



出前授業

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・コロナ禍ではあったが、これまでのGTや地域の人々との関係を継続し、つなげることができた。各学年とも積極的な活動をして、人との関わりを大切にする姿が見受けられ、異世代の人とのつながりを大切にすることや地域の発展に貢献しようとする態度を培うことができた。

○課題

- ・学習して終わるのではなく、教科や行事との横断的な学習にするため、今まで以上に授業の工夫や生徒の自主的な取り組みが必要となってくる。